



41 日車大明神(西向) にしむかい

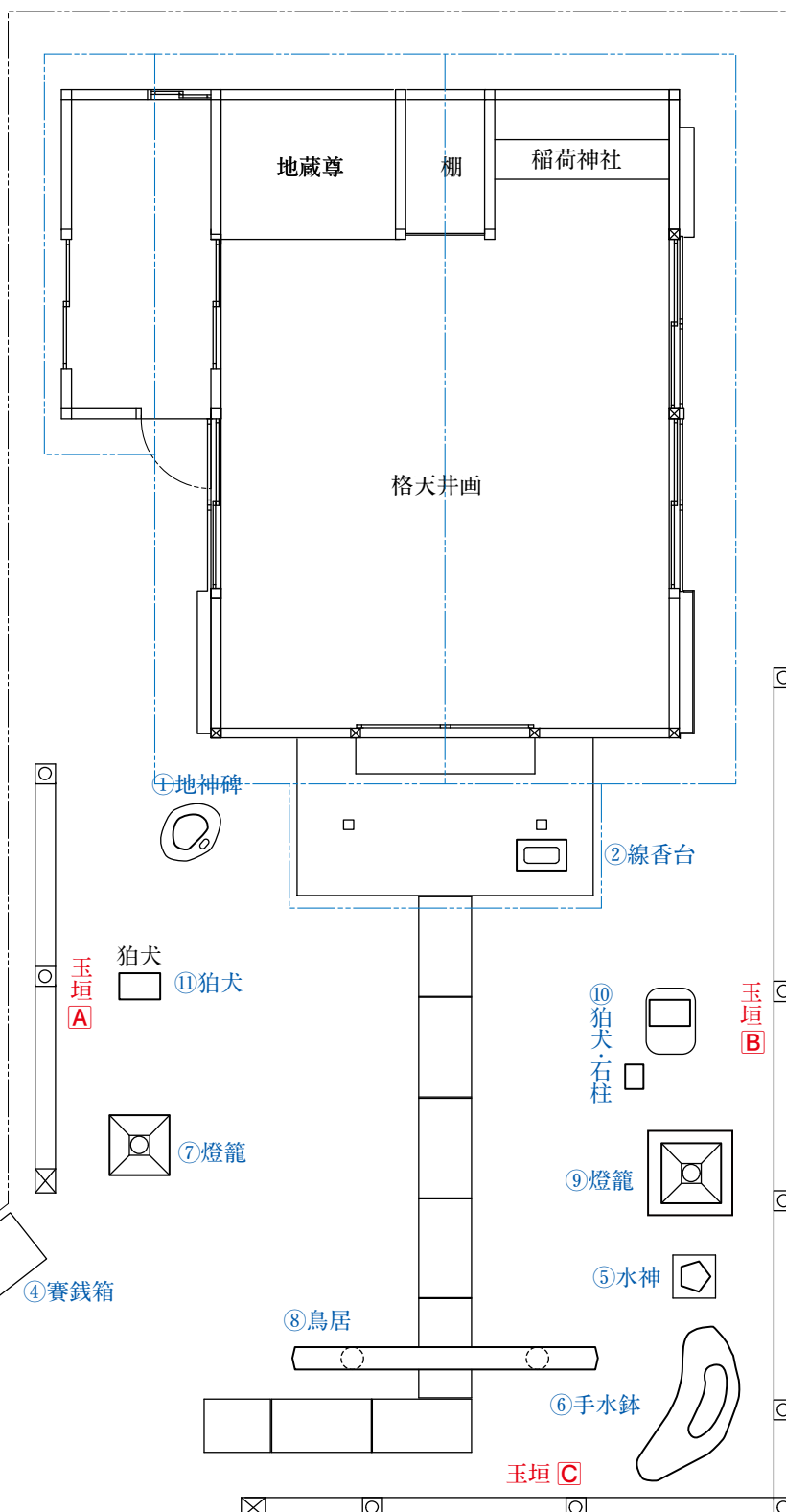
日車大明神(稻荷)・地藏尊・地神・水神(撫川1063-25)



昭和40年代の足守川拡張工事による移転



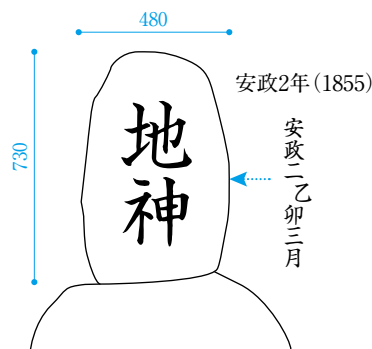
昭和41年の足守川周辺見取図(きびのさとNo.96より)



この社は昭和40年代、撫川橋の西側に在った稲荷宮(日車大明神)と、旧大橋西詰にあった地蔵堂を、河川改修工事のため移転し、一つのお堂にお祀りした。

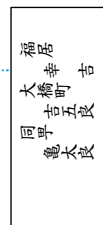
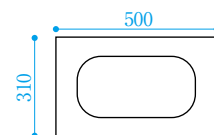
鳥居前の親柱には「皇紀二千六百年記念」の文字がある。鳥居も石燈籠も同じ時期(昭和15～16年)に築造されている。

①地神碑

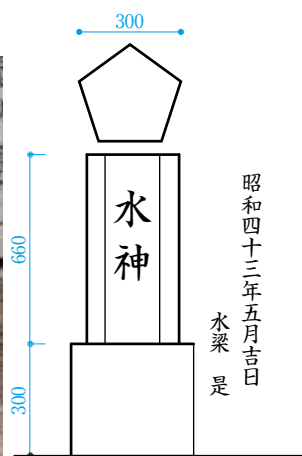


②線香台

銘板を再利用したもの。
何に使われていたものか不明。



⑤水神



五角形の石柱は他に
24大橋妙見宮と36平野の地神にある

昭和43年(1968)

⑩狛犬・石柱

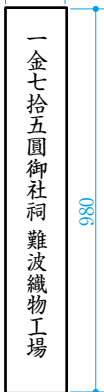


奉献

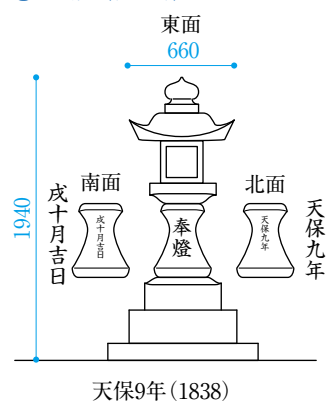
狛犬：幅260×高さ650×奥行410
台座：高さ650

150×113

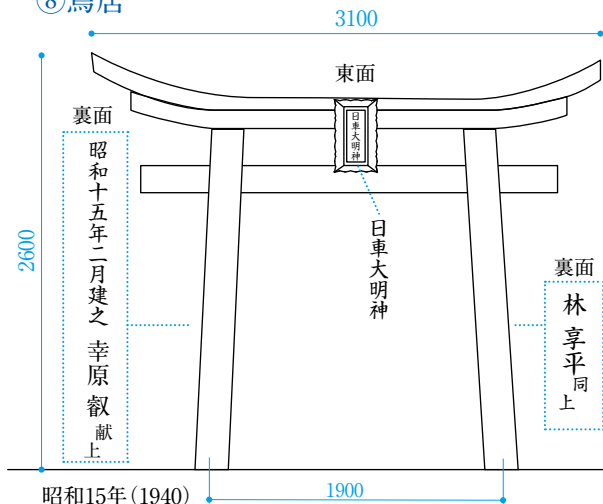
⑪狛犬



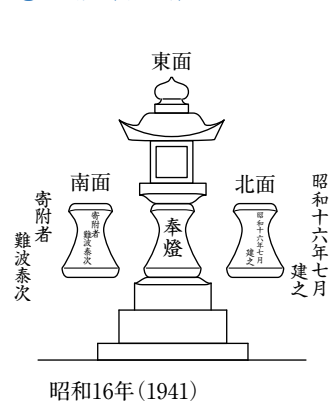
⑦燈籠(南側)



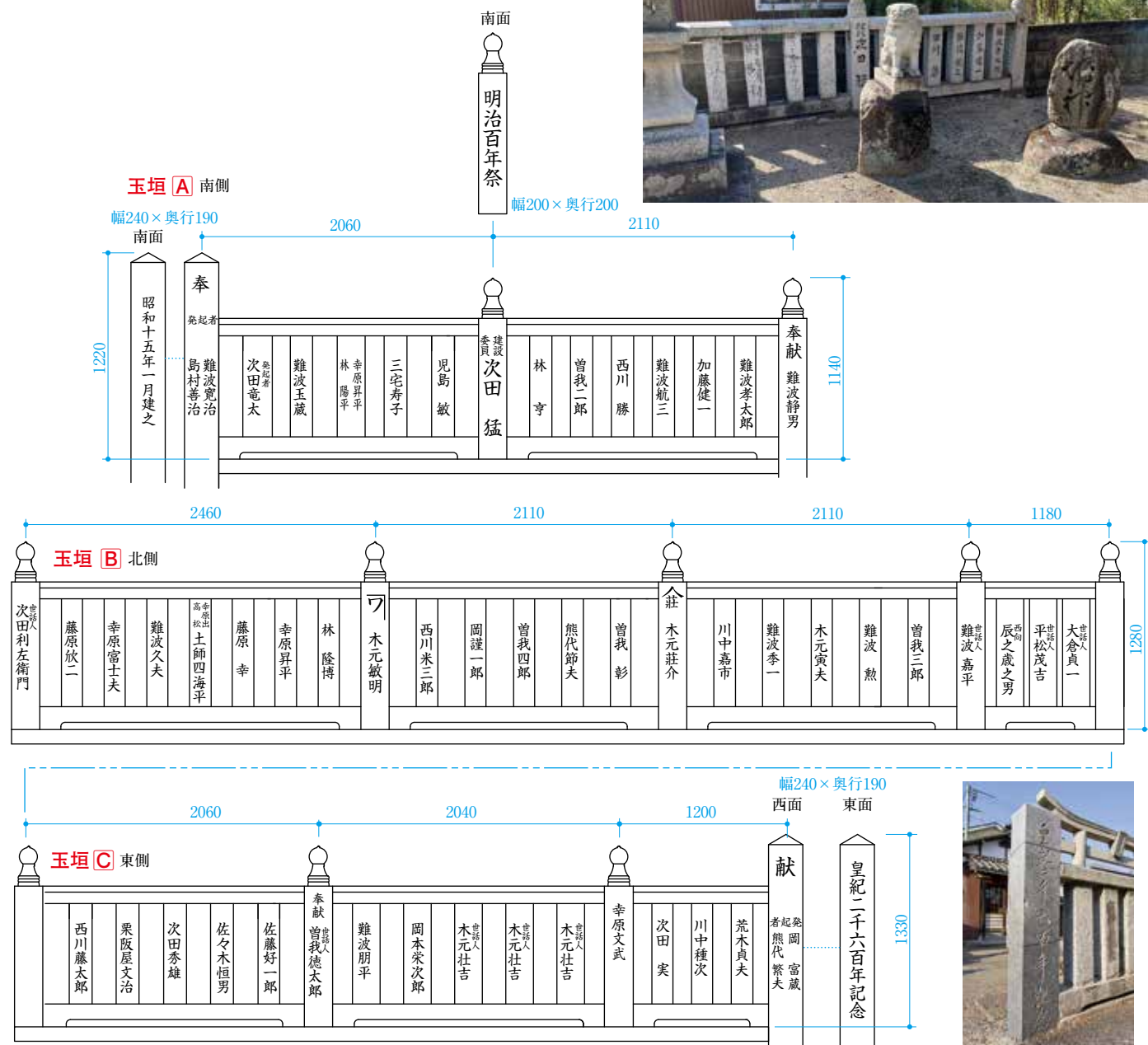
⑧鳥居



⑨燈籠(北側)



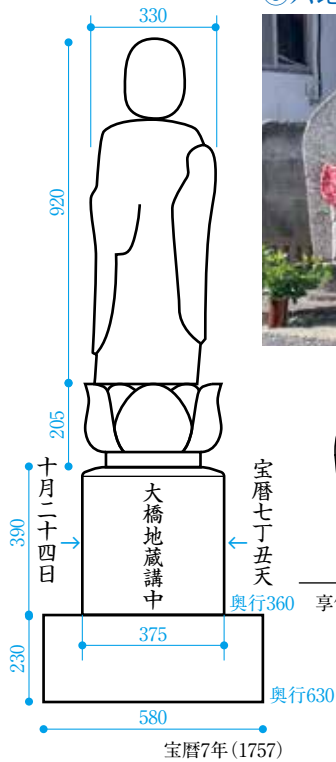
玉垣A



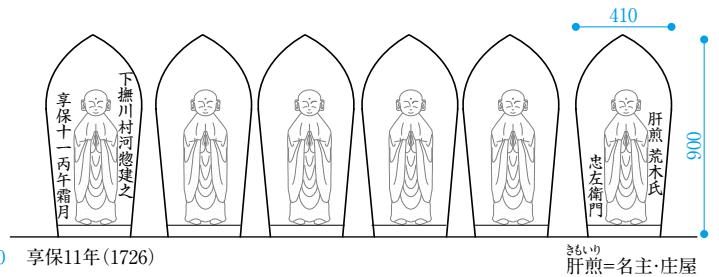
玉垣B

玉垣C

地藏尊



③六地藏

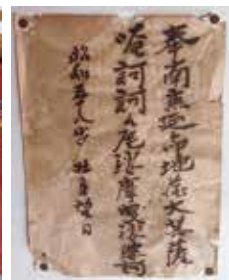


地藏尊の壁に貼ってある書き付け



延命地藏大菩薩六地藏
大菩薩講員連名
大念しげ
曾我政子
荒木花子
難波登喜世
川中嘉市
木元壽野
西川八千代
難波幹子
江原光江
杉山伊勢野
藤原小糸
難波静子
幸原 龜
難波登美子
次田加女
荒木菊野
加藤よし
幸原君子
幸原富士夫
難波久男
林 享平

暖簾



奉南無延命地藏大菩薩
おんかかかびさんまゐいそわか
昭和五十八年八月望日

昭和58年(1983)八月望日(陰曆8月15日)

奉納

南無延命地藏大菩薩之御宝前

大願成就

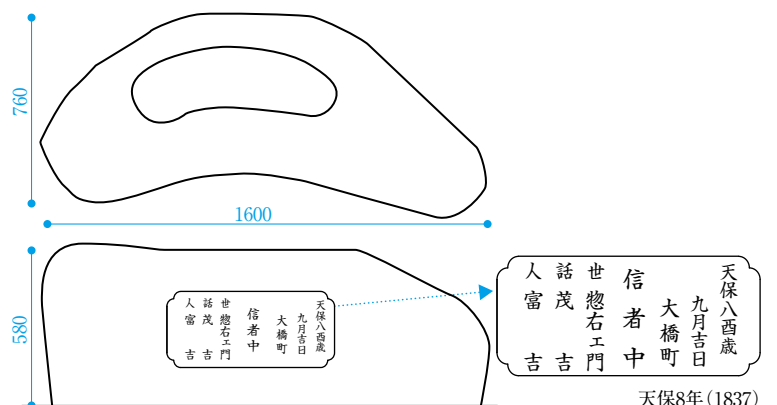
馬報恩謝徳之
昭四十九年二月二十三日
岡山市原尾島巳之生五十八才女
昭四十九年(1974)
よつにつち
むつのちまたを
ひとすじに
たすけたまへや
みだのじやうど

④賽銭箱



賽銭箱
寄進者
市會議員
脇本一郎
西川建設
西川勝

⑥手水鉢



中央棚の中にある幟旗袋



寄進者連名
難波まん
曾我ひさ
荒木七五三吉
金田重一
西田増平
小郷文治



昭和八歲旧七月

寄進者連名

難波勢伊
高嶋まさ
荒木お七
小郷ひさ
難波千代野



格天井画

元地藏堂の天井にあったものを移設。天井画20枚のうち18枚は、庭瀬の「留青画会」(西本留青志主宰=庭瀬城址の碑銘を書いている)の人々によるものである。



奉納者 岡屋政吉（東町の岡菊一の先）
現銀屋藤吉（狭川町所司利男の先）
矢田部屋市三郎
日畑邑 脇本長八
新地初治郎
橋本屋音吉（平川某の先）
橋本屋源吉（平川達治の先）
世話人 道具屋富三郎（平松哲男の先）
鳥羽屋重兵衛（難波貞一の先）
高田屋増吉（難波某の先）
岡山花尻 児島屋藤三郎
下撫川 大工音吉
児島忠吉
小郷卯三郎（小郷利郎の先）
曾我宗五郎
荒木仁吉
町内 坪井元平（坪井礼次郎の先）
木本愛介（木本一郎の先）
難波伊三郎（難波久男の先）
高島靜吉（高島熊男の先）
難波靜夫（難波恭文の先）
倉子城板屋
岩崎市五郎
世話人 大橋若連中

平成七年の改修工事の御芳志者（地元の前衛書道家曾我英丘の筆）

日車様

集会所
改修工事

御芳志者

一拾萬圓也	吉井	久善
一貳萬圓也	熊代	穀
一貳萬圓也	難波	泰文
一貳萬圓也	難波	卓雄
一貳萬圓也	幸原	木美
一貳萬圓也	振角	隆成
一貳萬圓也	佐藤	朝子
一貳萬圓也	島村	次女
一壹萬圓也	岡	三二郎
一壹萬圓也	難波	弘威
一壹萬圓也	西山	博昭
一壹萬圓也	農業土木	
一拾六萬 九千円也	西向十五町内會	
一拾萬圓相当	撫川産業	
材	料	

平成七年九月吉日

